沢海園芸生産出荷組合が日本農業賞県代表に

沢海園芸生産出荷組合（組合長伊藤栄一、組合員百二十二戸）がこのほど第十二回日本農業賞、集団の部で新潟県代表に選ばれました。

同組合は、昭和五十二年、農協野菜集出荷施設の完成と同時に発足し、沢海地区の主要作物のナガイモ、キャベツ、スイートコーンの部会を組織して共同出荷や生産資材の共同購入をしています。

また沢海地区は、五十年から村づくり事業を進めており同組合は一千万円農業をめざして様々な活動をしており、こうしたことが高く評価されたものです。

なお、県代表に選ばれた同組合は関東甲信越ブロックに出場することになっています。心から声援を送りましょう。

特産の長いもの出荷でにぎわう集出荷場

建部遯吾略伝を発刊

昭和二十年に亡くなられた建部遯吾博士（東京帝国大学教授＝貴族院議員）の顕彰を企図する、増渕不二男氏らによって「建部遯吾略伝（日本社会学の創始者）」（A五版六十頁）の発刊が進められています。

著者は、小林存伝を執筆された川崎久一氏で、内容は博士の生いたち、学界、政界での活躍、郷土とのかかわりなどが分り易く解説してあります。希望者には実費（四百円前後）で注文に応じますので増渕不二男（電話二七〇八）か横越村公民館へ申し込ください。

配布は十二月中～下旬予定

文化の日に各地で多彩な行事

十一月三日文化の日公民館や各分館では、多彩な文化祭行事が行われました。

本館では菊花展、写真集団横越島の写真展、茶道クラブの茶会、村連合青年団のバザーが開かれたほか、今年は村文化団体協議会の横越八勝の掛軸が展示され、訪れた人達の目を楽しませてくれました。

横越八勝展は通琳寺（横越）の第九世住職棲霞（円励）が近江八景になぞらえて作った詩集をもとに昭和二十九年、横越に在住していた荒岡耕雲画伯の掛軸に村手範氏が讃を入れられたもので、渡航帰帆、芦洲落雁、孤松夜雨、漁村夕照、龍渕晩鐘、長堤晴風、宮原秋月、前山暮雪の八幅構成ですが、当日は長堤晴風を除く七幅が展示されました。

菊花展では、三百三十三鉢四十四人が出来栄えを競った結果、特別賞には次の方が受賞しました。（以下割愛）

◎村長賞（管　物）市村文雄
◎議長賞（福助作）鈴木静夫
◎教育委員長賞（管物三管立）伊藤　実
◎公民館長賞（厚物三管立）阿部　定雄
◎農委会長賞（厚物三管立）阿部　定雄
◎農協組合長賞（厚物三管立）鈴木　静夫
◎商工会長賞（厚物一本立）伊藤　実

横越八勝の掛軸（本館）

書道・余技展（小杉分館）

木津二本木分館

木津分館及び二本木分館では、十一月三日木津分館を会場に文化祭を共催しました。

催し物は、農産物品評会、書道・余技・菊花展のほか民踊とカラオケ大会、特設のバザー、茶席など、盛り沢山行われ終日賑わいました。

体育館での民踊とカラオケ会場は人波で溢れ、開会では渋谷村長、田村文化団体協議会長も出席し、華やかに幕を開け、婦人たちの民踊、山崎製パン荻野会の賛助出演などの熱演で、観客は釘づけの盛況でした。また、書道・余技展でも力作秀作が多く、書の力量は激賞もの。ほか日本画、洋画の秀作、伝統を誇る小阿賀吟社同人の全国大会入賞句や労作が目をひきました。

小杉分館

小杉分館文化祭は、菊花展を十一月三日、芸能大会、余技展を十一月七日に開催しました。

三日の菊花展は、見事な百七十余鉢が体育館一杯に展示され、初の催しとしては素晴らしい内容でした。

小杉地区菊花同好会は、二十五人中大半が女性の集りとのこと、今後が期待されます。

七日の芸能大会は、各地区特有の味を生かした婦人たちの民踊や日本舞踊などが披露され、早々に陣取ったおばあさんグループなど、つめかけた大勢の皆さんを楽しませました。また、余技展は、書、活け花などが出品され、書と花の組合せを考慮した展示は文化祭にふさわしい感じが出大勢の人出を誘って賑わいました。

文化の日にふさわしい茶道特設場（木津分館）

鮭料理を勉強
農業婦人リーダー研修会

氷頭ナマスは新鮮と薄さが第一よ

おいしく食べられる鮭料理法を学ぼうと十一月十五日、村農業婦人リーダー研修会では、農協生活センターで仕出し業を営んでいる本徳さんから鮭料理の手ほどきを受けました。

当日は、阿賀野川で獲れた新鮮な地鮭を使い、納屋煮と氷頭（ひず）ナマスが作られました。

納屋煮はブツ切りの身を味噌汁とゆずをきかせた風味で、婦人たちは「ゆずの香りと味噌の味が鮭にしみとてもおいしいね」とため息をもらすなど、家庭で出せない味に舌つづみを打ち、また、頭を薄く切って作る氷頭ナマスは味、歯ごたえなどから食通の人には特に好まれますが、新鮮でなければできないことから一般家庭では、「ちょっと無理では」などの声もきかれました。

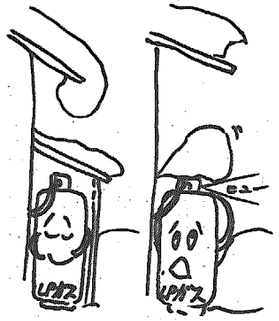
鮭料理のコツもこうして憶えてゆけば、豊かな食生活を楽しみ、地鮭の正価も一層高まることでしょう。

LPガスの容器格納は小屋がけで！
―冬期間のLPガス事故防止―

あなたの家はLPガスの冬期間の安全対策をどのようにしていますか。"べつにそんな安全対策なんて"という家がありましたら、ちょっとこれを見てください。あなたの家ではLPガスの容器はどんな所に置いていますか。

大抵の家では軒先に置いてあるのが多く、容器をそのまま放っておくのが見うけられます。これは大変危険なことで屋根に積った雪が落下して容器を痛め、ガス漏れを起し大事故につながることがありますので十分注意し、次のような安全対策をしてください。

①容器は小屋がけなどの保護をすること
②容器の周囲は常に除雪すること
③調整器はポリエチレンなどの袋に覆い、水分を防ぎ凍結を防ぐ



これで安心　不安だなあ

ウオークラリーで武藤チームが一位に

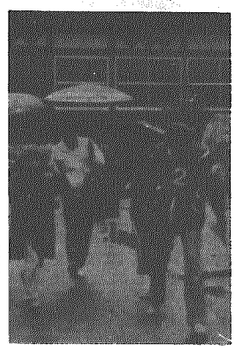
十月二十三日、青少年育成村民会議主催のウオークラリーが行われ、三十五人余の親子が参加して六十五分のコースで「歩き」を競い、横越の武藤チームが見事一位となりました。

ウオークラリーは、決ったコースの、自然を観察しながらチェックポイントを確めて歩き、伏せてある時間に最も近よることを競うもので、出発前には全員が一切の時計を預けます。

当日は、家族チームや友だちチームなど、八チームができ十時十分から三分毎にそれぞれ公民館をスタートしました。経路は、宗賢寺阿賀堤防、建部尚行碑、公民館へと戻るもので六十五分ピッタリのチーム、七十五分もかかったチームなど様々でしたが成績は下記のとおりでした。

ウオークラリー終了後は、持ちよりのおにぎりなどに主催者の豚汁サービスで体を温め、午後は映画鑑賞をしました。

一位　武藤文捷チーム（横越）
二位　中川悦生、小出源二チーム（小杉）
三位　小武正子、鈴木サチ子チーム（駒込）


雨中、チェックポイントを確認して

昭和58年度

保育園児募集
受付は1月26日まで

昭和五十八年度の保育園、児童館の入所申請を次により受付します。

なお、現在入園中の者でも引き続き入園希望の場合も必らず申請してください。

◎申し込に必要なもの
1.入園申請書
2.勤労所得者は、昭和五十七年分の源泉徴収票（幼児の両親、祖父母）これがない場合は「勤務証明書」「内職工賃支払証明書」を必らず添付ください。
3.家族が病気などの場合は医師の証明書（七十歳以上の老人は不要）
※入園申請書、勤務証明書、内職証明書の用紙は保健福祉課、各保育園にあります。

◎受付期間
昭和五十八年一月十七日から一月二十六日まで

◎受付場所
役場保健福祉課
なお、左記により集合受付を行いますので、なるべく当日おいでください。

地区	日	時	場所
横越・小杉	一月二十五日	午前 9.30～12.00 午後 1.00～ 4.00	横越村公民館
藤山・駒込			
沢海・木津	一月二十六日		
二本木			

◎入園決定通知
昭和五十八年三月初旬頃に個人通知いたします。

◎保育園の目的
幼児の保育は、本来家庭において保護者が行うことが最も自然で、理想の姿といえます。

しかし、保護者が勤労又は疾病などで、家庭に保育するものがいなく十分な保育ができない幼児を家庭の保護者にかわって保育する施設が保育園です。